

発表についてのご案内

■ 座長の皆様へのお願い

- ・ご担当のセッション開始予定時刻の10分前までに会場内右前方の次座長席にご着席ください。
- ・プログラムは非常にタイトなスケジュールで行われます。計時装置をご用意いたしますので、円滑な進行管理をお願いいたします。

■ 演者の皆様へのお願い

- ・次演者は、発表10分前までに会場内左前方の次演者席にご着席ください。

■ 発表時間・発表方法

セッション	発表時間
特別講演	質疑を含めて60分
シンポジウム	事務局より別途ご連絡いたします。
ランチョンセミナー	質疑を含めて50分
イブニングセミナー	質疑を含めて50分
高橋賞・高橋奨励賞 受賞記念講演	高橋賞：25分、高橋奨励賞：15分
学術集会若手奨励賞受賞者講演	発表7分／質疑3分
一般演題（口演）	発表7分／質疑3分

■ PC 受付について

発表者は、ご発表セッション開始予定30分前までにPC受付（ウインクあいち 6F 展示場 602-605）まで発表用メディアをご持参いただき、来場チェックを受けてください。

日 時：10月26日（土）8:25～17:00

10月27日（日）8:25～14:00

場 所：ウインクあいち 6F 展示場 602-605

- 1) 発表データは「Microsoft Power Point」で作成し、「USB メモリ」でご持参ください。また、発表用のファイル名は、「演題番号_演者氏名」としてください。
- 2) Macintosh や動画を使用される方はPC 本体をお持ちください。いずれの場合も必ず他メディアにてバックアップをご準備ください。
- 3) 舞台上にはモニター、キーボード、レーザーポインターをご用意致します。
- 4) 演台の計時装置にて、発表終了1分前に黄色ランプ、終了・超過と共に赤色ランプを点灯し、お知らせします。
- 5) 発表用データに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず元データも保存し、事前に他のパソコンでの動作確認を行ってください。
万が一、リンク先が開けなかったり、動画が動かないなどの不具合が発生した場合は、自己責任のもと割愛いただき進行してください。
- 6) 事務局で用意したPC 内にコピーした発表データにつきましては、発表終了後、学会事務局が責任を持って削除いたします。

【メディアをご持参される方】

当学会では下記使用のPC を準備しております。

- ・オペレーションシステム：Windows 11
- ・アプリケーションソフト：Microsoft Power Point 2021

- フォント：日本語、英語とも Microsoft 標準フォントをご使用ください。
- 画面解像度は XGA (1,024 × 768 ピクセル) です。このサイズより大きい場合、画面の周囲が切れてしまいますので、設定は必ず XGA としてください。
- 上記以外の環境で作成されたデータですとレイアウトの崩れ、文字化け等のトラブルが起きる可能性があります。予め会場内の PC 受付でご確認ください。

【PC 本体をご持参される方】

- 映像接続ケーブルは、D-sub15 ピン (ミニ) / HDMI を準備しております。それ以外をご使用の方は変換コネクタを忘れずにお持ちください。また、電源アダプタは必ずご準備ください。
- 無線 LAN 機能、スクリーンセーバー、省電力設定、ウイルスソフトなどのタスクスケジュール、ログオフ設定など、発表の妨げになる設定はご自身であらかじめ解除をお願いいたします。PC 受付での設定は致しかねますのでご了承ください。また、これらの機能により、発表に支障をきたした場合は、事務局では責任を負いかねます。
- PC 受付にてデータチェックを受けた後、発表15分前までに会場内オペレーター席へ PC をお持ちください。



■ 注意事項

- 発表に際し、個人が特定される可能性のある症例の氏名、イニシャル、ID 番号は発表しないようお願いいたします。
- 学術集会より許可のない方の、会場内およびオンデマンド配信時の写真・ビデオ撮影・録音等は禁止いたします。

■ 発表時における利益相反 (COI) の開示

共催セミナーを含むすべての発表に関し、筆頭演者および共同演者は、発表する研究内容に関連する過去3年間の利益相反の開示が必要となります。
詳細については、本会 HP (<https://cs-oto3.com/jsvacjacv2024/coi.html>) にてご確認ください。

■ 学術集会若手奨励賞

- 日本ワクチン学会では第23回大会より、日本臨床ウイルス学会でも第55回より、若手奨励賞を設け、学術集会において若手の優れた一般演題の発表を表彰してまいりました。両学会のこれまでの取り組みを統合して受け継ぐ形で、若手奨励賞の表彰を行います。
- 応募資格：筆頭演者が学術集会開始初日の時点で40歳以下、いずれかの学会の会員であること。
- 一般演題に抄録を登録し、若手奨励賞に応募された有資格者の中から合同学術集会として規定した審査委員による厳正な審査の結果、「臨床応用系・疫学系」から3名、「基礎研究系・製造開発系」から3名、計6名が合同学術集会 若手奨励賞の受賞者に選出されました。
- 受賞者は、合同学術集会 若手奨励賞受賞者講演セッション (11月26日 (土) 11:00～12:00 (第1会場：2F 大ホール)) にて口演発表を行っていただきます。
- 当日の口演発表を踏まえて、各カテゴリー1名ずつの最優秀賞を選考いたします。
- 合同学術集会 若手奨励賞6名 (最優秀賞2名を含む) の授賞式は、総会 (11月26日 (土) 13:10～14:10 (第1会場：2F 大ホール)) にて行います。
- 合同学術集会 若手奨励賞の受賞演題につきましては、本誌にてご確認ください。